The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	大阪大学史紀要創刊にあたって
Author(s)	中馬, 一郎
Citation	大阪大学史紀要. 1981, 1, p. 3
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/11975
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

大阪大学史紀要創刊にあたって

大阪大学五十年史編集実行委員会委員長
大阪大学五十年史資料・編集室長　中馬一郎

本年五月一日に創立五十周年をむかえる本学では、記念事業の一つとして『大阪大学五十年史』を刊行することになり、昭和五十四年三月、五十年史編集実行委員会が設けられ、以後編集作業に取り組んで参りました。

五十年史は、創立以来の本学の歴史を記述し、本学が学術の発展、人材の養成に果たした役割を明らかにするとともに、本学前史時代を含め、大阪の文化的、社会的、経済的土壌にはぐくまれてきた関連を重視するという方針に沿って、現在関係資料の調査収集に努力いたしております。収集された資料は、昭和五十四年七月に附属図書館内に設置された大阪大学五十年史資料・編集室に収蔵しております。しかし、現状はなお極めて不十分でありまして、今後さらに本学の内外にわたる広い調査を行ない、情報交換を活発にし、さらには集められた資料について学術的に検討を行なう必要があります。

このような趣意に基づいて、五十年史の内容の充実と編集作業のより円滑な進行を期すため、本委員会は今度『大阪大学史紀要』を刊行することにいたしました。研究論文、研究ノート、座談会、回顧録、資料紹介などをとおして、本学の歩みをさまざまな角度から取り上げ、記録にとどめてゆきたいと考えております。

大阪大学の歴史の調査研究は、今回の五十年史の刊行によって終了すべきものではなく、近代史の重要な一分野として、恒久的にその充実と発展がはかられるべきものであります。その意味から、今回の紀要を『大阪大学史紀要』と題し、あえて「五十年」を除きました。同じ趣旨から、資料・編集室の名称からもこの三字が取り去られることを切望するものであります。

本紀要の今後の発展を念願し、あわせて内容充実のため関係各位の御理解と御尽力を御願いいたします。

昭和五十六年四月